

エコアクション21 環境経営レポート

2023年度（活動期間：2023年4月1日～2024年3月31日）



トヨタモビリティパーツ株式会社 岐阜支社

レポート作成：2024年7月18日

目次

【 1 】 事業所概要	P.2
【 2 】 環境経営方針	P.3
【 3 】 推進体制	P.4
【 4 】 推進体制における役割、責任および権限	P.5
【 5 】 環境経営目標（中期目標計画）	P.6～7
【 6 】 環境経営計画	P.8～9
【 7 】 環境経営目標の結果と評価	P.10
【 8 】 2023年度取組み結果・評価	P.11～23
【 9 】 次年度の環境経営計画	P.24～25
【 10 】 環境関連法規制の遵守状況	P.26～27
【 11 】 代表者による全体の評価と見直し・指示	P.28

【1】事業所概要

- ◆ 事業所名 トヨタモビリティパーツ株式会社 岐阜支社
- ◆ 所在地 〒509-0109
岐阜県各務原市テクノプラザ3丁目1番5
TEL.058-257-1111
- ◆ 代表者名 支社長 中西 直孝
(統括責任者)
- ◆ 環境管理責任者 理事 松山 浩司
(CSR管理責任者)
- ◆ 事業内容 自動車部品・用品、自動車関連商品等の卸売業
- ◆ ホームページ <https://www.toyota-gifu-parts.co.jp>
- ◆ 事業規模 売上高 : 137.5億円 (2024年3月期)
従業員数 : 182名 (2024年3月末現在)
敷地面積 : 31,993㎡
床面積 : 17,833㎡
- ◆ 対象範囲 全部署・全活動 : 支社本部、6営業所
- ◆ 営業所 各務原営業所 ・ 岐阜営業所
高山営業所 ・ 大垣営業所
多治見営業所 ・ 中津川営業所

【2】環境経営方針

《 基本理念 》

当支社は、地球環境の保全が人類共通の最重要課題であるとの認識に立ち、経営理念の一つとして、地域社会ならびに地球環境問題への積極的な貢献を約束してまいります。即ち、事業活動の全ての分野において、SDGs を常に意識し、省エネおよび省資源に努め、健康で豊かな地球環境の保全と創出に取り組みます。また取引先および地域社会との仲間づくりを通じ、環境への取り組みの輪を広げ、環境保全を意識した住み良い社会づくりに貢献します。

《 基本方針 》

1. 自動車関連商品およびサービスの販売・供給に関わるあらゆる活動において、地球環境に与える影響を確実に把握し、環境影響の低減を目指して環境目的・目標を設定し、全社を挙げて環境マネジメントシステムの継続的な改善を推進します。
2. 環境に関する法律・条令等の他、会社として受け入れを決めた他の要求事項を遵守するとともに、社内基準や業務手順を整備し環境の保全と汚染の予防に努めます。
3. 従業員が常に環境に配慮して行動することができるように、環境に関する教育・訓練を実施し環境問題への意識の高揚と責任感の強化を図ります。
4. 事業活動が環境に与える以下の項目を重点項目として定め活動を実施します。

《重点活動項目》

- ①省資源・省エネルギーの推進による二酸化炭素排出量の削減
 - ②3Rの精神にのった廃棄物発生の削減(Reduce)と再資源化(Reuse・Recycle)
5. お得意先様ならびに仕入先との協力関係を通じ、環境保全の仲間づくりを進めるとともに、地域社会の環境保護活動に協力します。
 6. この環境経営方針は支社内に周知徹底するとともに支社外に対し情報開示します。

制定日 2015年7月22日

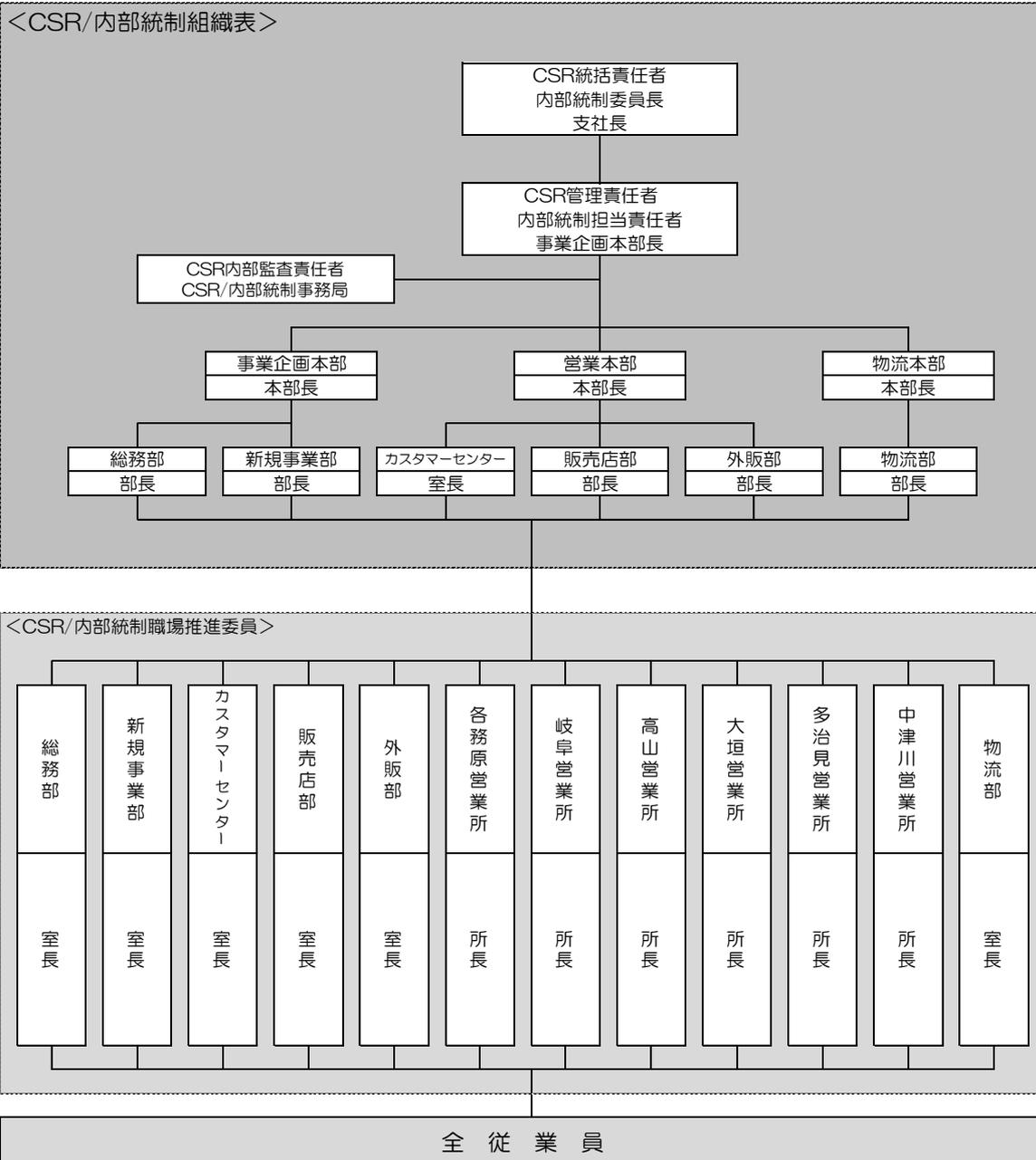
改定日 2024年4月 1日

トヨタモビリティパーツ株式会社 岐阜支社

支社長 **中西 直孝**

【3】推進体制

◇当支社はCSR/内部統制組織に基づき環境経営活動を推進しています



【4】推進体制における役割、責任および権限

担当	役割・責任・権限
統括責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの管理・実行に必要な人材、設備、費用、時間の用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営方針の策定及び全従業員へ周知 ・全体の評価と見直しを実施
CSR/内部統制委員会 (原則毎月開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・CSR/内部統制推進における各種意思決定と審議事項の承認 ・推進、改善活動の指揮、統括
CSR管理責任者 (環境管理責任者) 内部統制担当責任者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システム構築、運用、維持 ・外部からの苦情、要望等の対応 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告
CSR内部監査責任者 (内部環境監査責任者) CSR/内部統制事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営活動計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・内部監査の計画、実行、報告および結果とりまとめ ・環境管理システムの適合性、運用状況の監査取りまとめ ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・CSR/内部統制委員会及びCSR/内部統制推進会議の準備、運営
CSR/内部統制推進会議 (毎月開催)	<ul style="list-style-type: none"> ・CSR/内部統制委員会決定事項の各部への伝達、指導 ・各部の運用状況確認
CSR/内部統制 職場推進委員	<ul style="list-style-type: none"> ・自部門の環境経営活動の責任者 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の環境・教育訓練の実施 ・環境教育・訓練実施記録の作成 ・自部門に関連する環境経営活動計画の実施 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営方針に基づく継続的な環境改善活動の実施 ・事業活動における環境法令の遵守及び環境負荷の低減

【5】環境経営目標（中期目標計画）

※下段()内は実績

取組項目	単位	2021年度実績	2022年度目標・実績	2023年度目標・実績	2024年度目標・実績
		(基準年度)	基準年度1%削減・増加	基準年度2%削減・増加	基準年度3%削減・増加
二酸化炭素排出量	t-CO2	※ 652.2	646.0 (646.5)	639.0 (629.0)	623.0 ()
電気	kWh	458,825	454,200 (477,820)	449,600 (472,300)	467,500 ()
	kWh/百万円	44.62	44.17 (46.96)	43.73 (43.75)	43.28 ()
ガス	m ³	50,222	49,720 (50,733)	49,200 (47,530)	48,800 ()
	m ³ /百万円	4.88	4.83 (4.99)	4.78 (4.40)	4.36 ()
都市ガス	m ³	49,751	49,300 (50,307)	48,740 (47,117)	48,300 ()
			L P G	471 (426)	460 (413)
ガソリン	L	42,029	41,600 (40,036)	41,200 (39,130)	38,740 ()
	L/百万円	4.09	4.05 (3.93)	4.01 (3.62)	3.58 ()
軽油	L	73,292	72,600 (68,486)	71,800 (66,560)	65,900 ()
	L/百万円	7.13	7.06 (6.73)	6.99 (6.17)	6.11 ()
廃棄物総廃棄量	t	—	—	—	—
一般廃棄物	t	3.70	3.60 (3.58)	3.50 (3.47)	3.40 ()
産業廃棄物	t	43.0	42.6 (38.73)	42.1 (37.9)	37.5 ()
総排水量（水使用量）	m ³	1,256	1,170 (1,128)	1,160 (1,179)	1,150 ()
グリーン購入の推進 （文房具の購入比率）	%	63.7	65.0 (63.7)	67.0 (49.9)	70.0 ()
文房具の購入金額	千円	1,077	1,060 (979)	880 (840)	830 ()
環境配慮型商品の拡販 （省燃費エンジンオイル） 外販取組み	L （%）	省燃費エンジンオイル(外販) 149,571L (14.7%)	省燃費エンジンオイル(外販) 154,950L (14.9%) (204,725L (15.1%))	省燃費エンジンオイル(外販) 205,210L (16.0%) (172,596L (20.0%))	省燃費エンジンオイル(外販) 148,330L (21.0%) () L (%)
社会貢献活動の推進 （県・市主催等への 社会貢献活動への参加）	回	・ペットボトルキャップ 及び古切手寄付 ・備蓄食料品の フードバンクへ寄付	・ペットボトルキャップ 及び古切手 ・備蓄食料の寄付 ・環境ボランティア ・学校での出前授業	・ペットボトルキャップ、 古切手、備蓄食料、 フードドライブ活動 における寄付 ・環境ボランティア ・学校での出前授業	・各種寄付活動(ペットボトル キャップ、古切手、備蓄 食料、フードドライブ) ・高山方面食糧配送支援 ・環境ボランティア ・学校での出前授業

・二酸化炭素排出量については電気二酸化炭素排出係数変更（22年度0.546kg-CO2/kWh）を考慮

※2021年度実績：587.9 t → 652.2 t に置き換え（22年度二酸化炭素排出係数が大幅に変更となった為）

・売上原単位については数量（使用量） / 売上金額にて算出へ変更

【5】環境経営目標（中期目標計画）

《備考》

※電気(出光興産)の二酸化炭素排出係数は2022年度より「0.546kg-CO₂/kWh」を使用

※都市ガスの二酸化炭素排出係数は2018年度より「0.0499kg-CO₂/MJ」を使用

※LPGの二酸化炭素排出係数は2018年度より「0.0590kg-CO₂/MJ」を使用

※ガソリンの二酸化炭素排出係数は2018年度より「0.0671kg-CO₂/MJ」を使用

※軽油の二酸化炭素排出係数は2018年度より「0.0686kg-CO₂/MJ」を使用

※軽油は備車を除く社用車の使用量

※産業廃棄物はリサイクル資源を除く廃棄量実績

※PRTR制度対象物質の使用が無いため、化学物質使用量を取組項目より除外

《目標設定基準》

※基本的には基準年（2021年度実績）より各項目1%ずつ削減・増加を基準に推進

但し、環境変化に伴い毎年目標を見直すものとする

※原単位は2023年度の売上原価を使用

【6】環境経営計画

支社取組み項目	実施時期	該当部署
1. 電気使用量の削減		
①毎月の使用量実績（電気代も含む）報告・掲示による使用量削減への意識づけ	毎月	全部署
②エアコン・照明等、人がいない場合はこまめに『電源OFF』を徹底	通年	
③室内温度（夏28℃・冬20℃）、WBGT値に基づくエアコン使用と管理徹底 ※感染防止対策はCO ₂ 濃度計測値（800ppm以上）で換気へ変更		
④会議室・食堂の通常活用（職場・人数分散、人数制限の縮小・廃止）		
⑤クールビズ（5～10月）案内とノーネクタイの通年対応	年1回	
⑥環境月間展開による啓蒙活動の推進		
⑦退社時間の早期化の推進（省エネデー、月次報告等、業務効率化推進による残業削減）	毎月	
⑧システム機器等の計画的な代替を推進（省エネ機器への代替）	通年	
2. ガス使用量の削減		
①毎月の使用量実績（ガス代も含む）報告・掲示による使用量削減への意識づけ	毎月	全部署
②室内温度（夏28℃・冬20℃）、WBGT値に基づくエアコン使用と管理徹底 ※感染防止対策はCO ₂ 濃度計測値（800ppm以上）で換気へ変更	通年	
③会議室・食堂の通常活用（職場・人数分散、人数制限の縮小・廃止）	年4回	
④エアコンフィルターの定期清掃（全拠点3～4回/1年 業者対応）		
⑤手順書に基づく給湯器の活用	通年	
3. ガソリン・軽油使用量の削減		
①月次使用量と社用車別走行距離及び燃費実績をCSR/内部統制委員会報告・展開	毎月	全部署
②効率的社用車の運用管理（メール予定表活用による最適車両使用）	通年	
③HEV・PHEV車といったエコカー等への代替推進および、最適台数の把握		
④社用車安全点検の徹底（タイヤ残溝・空気圧）による安全性と燃費向上の推進		
⑤配送ダイヤ・ルートの最適化や他社との共同配送による効率的燃料使用の推進		
⑥安全衛生委員会と連動したエコドライブの推進		
4. 廃棄物排出量の削減		
(1) 一般廃棄物		
①毎月の一般ゴミの廃棄エリア別実績把握による原因分析とゴミ削減の意識づけ	毎月	全部署
②毎週4S時の混入チェックと分別の徹底		
③モバイル型ノートPCへの切替えに伴うペーパーレス化推進（印刷物の削減）		
(2) 産業廃棄物		
①産業廃棄物の分別ルール徹底と3Rの推進、 マニフェストの発行及び定期チェックと保管管理	通年	全部署
②防災備品（ヘルメットなど）、システム機器入替に伴うリサイクルの推進	通年	物流部
④在庫管理基準の定期的見直しによる廃棄部品の発生抑制推進		

【6】環境経営計画

支社取り組み項目	実施時期	該当部署
5. 水使用量の削減		
①月次使用量把握と異常値及び水漏れチェックの継続実施	毎月	全部署
②感染防止対策としてこまめな手洗いを実施しながら水使用の削減意識も徹底	通年	
6. グリーン購入の推進、環境配慮型商品の拡販、社会貢献活動の推進		
(1)グリーン購入の推進（切替促進と文房具購入金額削減）		
①グリーン商品対象文房具類の継続的な切替（購入）推進	通年	全部署
②フリクション型ボールペンから代替品への変更を検討		
③働き方改革に伴う文房具類の適性在庫管理によるムダな購入の削減		
(2)環境配慮型商品の拡販（省燃費エンジンオイル）		
①外販先（部品商・直売）省燃費エンジンオイル販売量の現状把握と切替促進	通年	外販部 営業所
②施策・キャンペーンを活用した省燃費エンジンオイル販売量の拡大		
(3)社会貢献活動の推進（県・市主催の社会貢献活動への参加）		
①回収活動(ペットボトルキャップ、古切手など)の継続推進	年2回	総務部
②地域環境ボランティア（清掃活動やイベント活動）への積極的な参加	通年	
③防災備蓄食料品の定期入替に伴う食品ロス削減に向けた寄付活動（社会福祉協議会）	年3回	
④地域の保育園、幼稚園、小学校、社会福祉協議会などへの貢献活動	通年	

【7】環境経営目標の結果と評価

評価△：目標の95%以上100%未満

取組項目	単位	基準値 (2021年度)	2023年度目標 基準年度2%削減・増加	実績 (4～3月)			評価	
				達成率	目標差	前年差		
二酸化炭素排出量	t-CO2	652.2	639.0	629.0	101.6%	▲ 10	▲ 17.5	○
電気	kWh	458,825	449,600	472,300	95.2%	22,700	▲ 5,520	△
	kWh/百万円	44.62	43.73	43.75	99.9%	0.02	▲ 3.21	△
ガス	m ³	50,222	49,200	47,530	103.5%	▲ 1,670	▲ 3,203	○
	m ³ /百万円	4.88	4.78	4.40	108.5%	▲ 0.37	▲ 0.59	○
都市ガス	m ³	49,751	48,740	47,117	103.4%	▲ 1,623	▲ 3,190	○
LPG	m ³	471	460	413	111.5%	▲ 47	▲ 13	○
ガソリン	L	42,029	41,200	39,130	105.3%	▲ 2,070	▲ 906	○
	L/百万円	4.09	4.01	3.62	110.5%	▲ 0.38	▲ 0.31	○
軽油	L	73,292	71,800	66,560	107.9%	▲ 5,240	▲ 1,926	○
	L/百万円	7.13	6.99	6.17	113.3%	▲ 0.82	▲ 0.56	○
廃棄物総廃棄量	t	—	—	—	—	—	—	—
一般廃棄物	t	3.70	3.50	3.47	100.9%	▲ 0.03	▲ 0.11	○
産業廃棄物	t	43.0	42.1	37.9	111.1%	▲ 4.20	▲ 0.83	○
総排水量（水使用量）	m ³	1,256	1,160	1,179	98.4%	19	51	△
グリーン購入の推進 (文房具の購入比率)	%	63.7	67.0	49.9	74.5%	17.10	▲ 14	×
文房具の購入金額	千円	1,077	880	840	104.8%	▲ 40	▲ 139	○
環境配慮型商品の拡販 (省燃費エンジンオイル) 外販取組み	L (%)	149,571 (14.7)	205,210 (16.0)	172,596 (20.0)	84.1%	49,775 (4.0)	55,154 (4.9)	×
社会貢献活動の推進 (県・市主催等への 社会貢献活動への参加)	回	ペットボトルキャップ 及び古切手寄付 備蓄食料品の フードバンクへ寄付	地域「ランティ」活動等 への積極的参加	ペットボトルキャップ 及び古切手 備蓄食料の寄付 環境ボランティア 学校での出前授業 フードドライブの実施	—	—	—	○

《備考》

- ※軽油は備車を除く社用車の使用量
- ※産業廃棄物はリサイクル資源を除く廃棄量実績
- ※PRTR制度対象物質の使用が無いため、化学物質使用量を取組項目より除外

目標達成13/18目
(達成率72.2%)
△95%以上達成
16/18項目

【8】2023年度取組み結果・評価

★二酸化炭素排出量の削減

目標	実績	目標差	評価	前年差	評価
639.0 t-CO ₂	629.0 t-CO₂	▲10.0 t-CO ₂	○	▲17.5 t-CO ₂	○

【項目別実績】

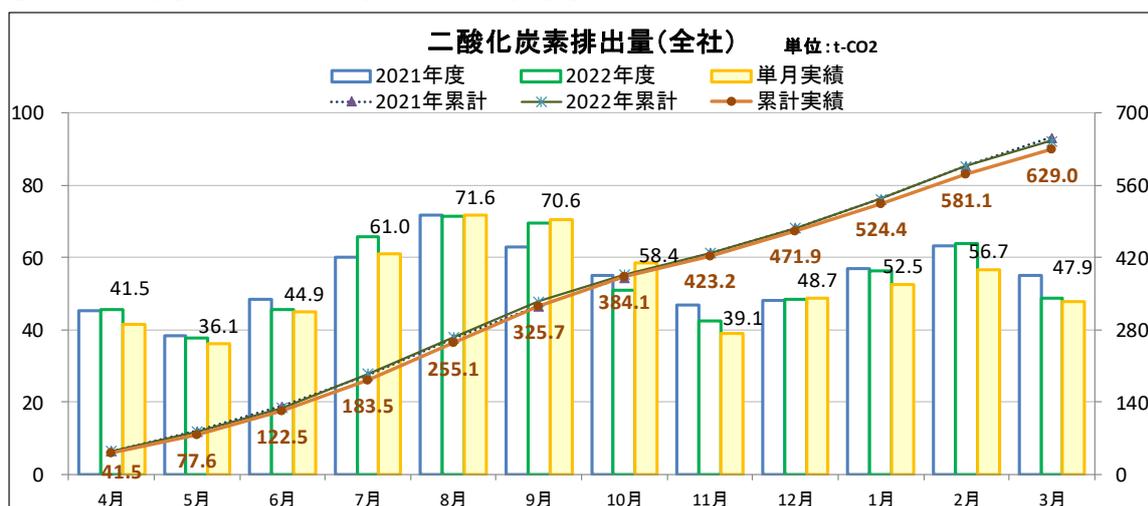
単位：t-CO₂

項目	目標	実績	目標差	前年差
電気	245.5	257.9	12.4	▲ 3.0
都市ガス	109.5	105.8	▲ 3.7	▲ 7.2
LPG	2.7	2.4	▲ 0.3	▲ 0.1
ガソリン	95.6	90.8	▲ 4.8	▲ 2.2
軽油	185.7	172.1	▲ 13.6	▲ 5.0

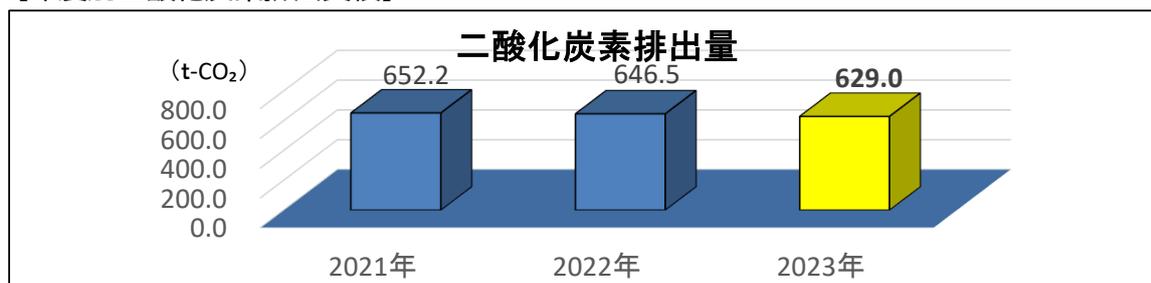
●二酸化炭素排出量削減に向けて各項目の使用量及び排出量削減に向けた取組みを実施

- ・電気：エアコン・照明等、人がいない場合はこまめに『電源OFF』徹底や全部署で退社時間早期化（省エネデー3回/月）などを実施。換気しながらのエアコン使用が大きく影響しCO₂排出量増加
- ・ガス：手洗い（給湯器使用）における使用はルール遵守にて効率的に使用
- ・燃料：燃費向上に向けた『エコドライブ』推進やエコカーへの代替や配送ダイヤ・ルート最適化による効率的燃料使用によりCO₂排出量減少

【2023年度月別二酸化炭素排出量実績推移】



【年度別二酸化炭素排出実績】



【8】2023年度取組み結果・評価

1.電気使用量の削減

項目	目標	実績	目標差	評価	前年差	評価
使用量	449,600 kWh	472,300 kWh	+22,700 kWh	×	▲5,520 kWh	○
原単位	43.73 kWh	43.75 kWh	+0.02 kWh	△	▲3.21 kWh	○

- ・CSR/内部統制委員会（毎月開催）にて実績進捗状況を確認、課題等をメンバーで協議
- ・全部署へ実績状況を展開、物流部及び営業所では毎月実績進捗グラフを掲示し意識づけ実施
- ・エアコン・照明等、人がいない場合はこまめに『電源OFF』を推進も休憩中の照明OFFが不徹底
- ・室内温度（夏28℃・冬20℃）は健康第一に温度調整し、感染防止対策としてCO2濃度計を見た換気へ変更
- ・コロナ感染症やインフルエンザ感染等が治まらず、引き続き、職場・人数分散、人数制限を実施
- ・エアコンフィルター・室外機の定期清掃実施
- ・トヨタ自動車と連携した環境月間（6月）展開により意識啓発を図る
- ・省エネdayを6月より 2日/月から3日/月に増やし、退社時間を早期化
- ・働き方改革と連動し最新のノートPC切替えにより持続性が高いバッテリーで省エネに繋がった



毎月開催のCSR/内部統制
委員会で実績報告



WBGT基準&こまめな電源管理
室内温度（夏28℃・冬20℃）



トヨタ地球環境月間
連動による節電キャンペーン

【8】2023年度取組み結果・評価

1. 電気使用量の削減



エアコン空気循環ファンによる
高効率化(支社本部)

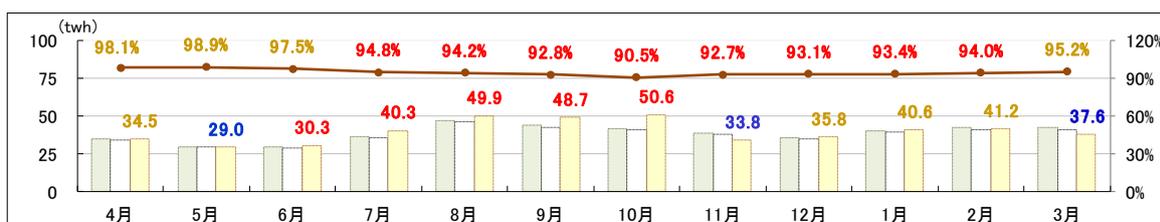


クールビズ期間の案内

<2023年度月別電気売上原単位実績>



<2023年度月別電気使用量実績>



【次年度の取組み】

SDGs



- ・エアコン・照明等、人がいない場合はこまめに『電源OFF』を徹底
- ・感染症対策を含め体調面を考慮したエアコン活用と換気の継続運用
- ・食堂の人数分散、人数制限を継続実施
- ・月次実績確認による削減への意識づけ
- ・退社時間の早期化の推進(業務の効率化による時間外業務時間の削減と省エネの追加検討)
- ・システム機器等の計画的な代替を推進(省エネ機器への代替)
- ・営業所における照明器具LEDへの順次切替え

【8】2023年度取組み結果・評価

2. ガス使用量の削減

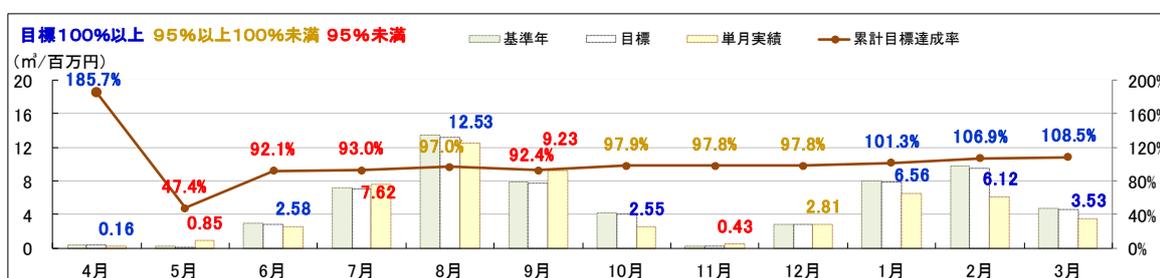
項目	目標	実績	目標差	評価	前年差	評価
使用量	49,200 m ³	47,600 m³	▲1,600 m ³	○	▲3,583 m ³	○
原単位	4.78 m ³	4.41 m³	▲0.37 m ³	○	▲0.62 m ³	○

- ・室内温度（夏28℃・冬20℃）は健康第一に温度調整し、感染防止対策としてCO2濃度計を見た換気へ変更
- ・コロナ感染症やインフルエンザ感染等が治まらず、引き続き、職場・人数分散、人数制限を実施
- ・エアコンフィルター・室外機の定期清掃実施
- ・クールビズ（5～10月）と併せて通年でノーネクタイへ変更
- ・手洗い（給湯器使用）における使用はルール遵守にて効率的に使用

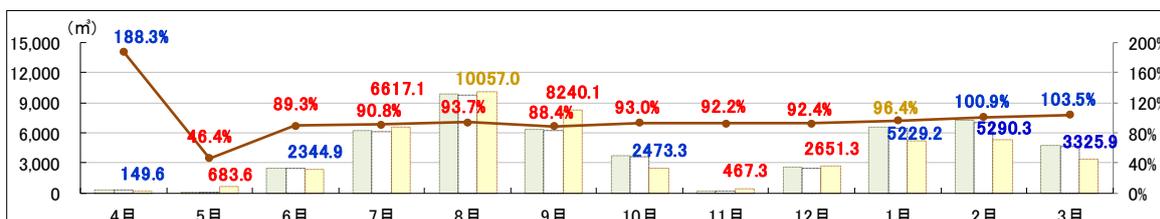
CO2濃度計による
換気実施



<2023年度月別ガス売上原単位実績>



<2023年度月別ガス使用量実績>



【次年度の取組み】



- ・感染症対策を含め体調面を考慮したエアコン活用と換気の継続運用
- ・退社時間の早期化の推進(業務の効率化による時間外業務時間の削減と省エネへの追加検討)
- ・食堂の人数分散、人数制限を継続実施
- ・月次実績確認による削減への意識づけ

【8】2023年度取組み結果・評価

3.ガソリン・軽油使用量の削減

項目	目標	実績	目標差	評価	前年差	評価
ガソリン使用量	41,200 L	39,130 L	▲2,070 L	○	▲906 L	○
原単位	4.01 L	3.62 L	▲0.39 L	○	▲0.31 L	○
軽油使用量	71,800 L	66,500 L	▲5,300 L	○	▲1,986 L	○
原単位	6.99 L	6.17 L	▲0.82 L	○	▲0.56 L	○

※社用車台数：63台（ガソリン車：38台・軽油車：25台）

- ・メール予定表予約運用による使用社用車の選定
- ・HEV・PHEV車（※災害時に給電が可能な車両）などのエコカー等への代替推進（2台切替）
- ・社用車チェック表（残溝・空気圧チェック）による安全性と燃費向上の推進
- ・配送ダイヤ・ルートの最適化や他社との共同配送による効率的燃料使用の推進
- ・ドライブレコーダーの定期的な上司および自己運転チェックによるエコドライブの推進
- ・環境月間（6月）展開によるエコドライブ啓発実施



HEV・PHEV車両への切替推進
災害時電力供給可能



毎週金曜日に社用車チェック表に基づいた
タイヤの残溝および空気圧点検の実施



配送ダイヤ・ルートの最適化
他社との共同配送



ドライブレコーダー全社用車搭載



ドライブレコーダーの画像確認による運転チェック

【8】2023年度取組み結果・評価

<2023年度月別ガソリン売上原単位実績>



<2023年度月別ガソリン使用量実績>



<2023年度月別軽油売上原単位実績>



<2023年度月別軽油使用量実績>



【次年度の取組み】

SDGs



- ・HEV・PHEV車への代替や社用車の安全点検とエコドライブ推進による燃費向上の推進
- ・配送ダイヤ・ルート最適化や他社との共同配送による効率的燃料使用の推進
- ・社用車への低燃費タイヤ利用推進
- ・社用車のエアコン設定調整による燃費向上（時期・天候ごとの有効的活用）
- ・Teams等を活用したりリモート会議の活用により移動時の使用燃料抑制
- ・公共交通機関の利用促進

【8】2023年度取組み結果・評価

4.廃棄物排出量の削減

項目	目標	実績	目標差	評価	前年差	評価
一般廃棄物	3.50 t	3.46 t	▲0.04 t	○	▲0.12 t	○

- ・一般ゴミの廃棄エリア別実績把握による原因分析、リサイクル品との分別表示・徹底の意識づけを実施
- ・毎週4S時に分別状況確認し、未徹底部署への再徹底実施
- ・Teams、データ保存、ノートP C持ち込み会議推進によるペーパーレス化実施
- ・ペーパーレスに伴う成果(紙使用量)の数値把握と社内共有
- ・プリンターの保留印刷設定によるムダ紙排出抑制と裏紙再利用の徹底継続



<2023年度月別一般廃棄物排出量実績>



SDGs



【次年度の取組み】

- ・毎月の一般ゴミの廃棄エリア別実績把握による原因分析とゴミ削減の意識づけ
- ・毎週4S時の紙類混入チェックと分別の徹底
- ・モバイル型ノートP Cの活用によるペーパーレス会議の推進（印刷物の削減）
- ・My箸使用推奨によるゴミの削減
- ・印刷前の確認・徹底（保留印刷）と必要数印刷による不要な印刷の削減
- ・ペンタブレット活用によるペーパーレス化促進（受注メモの電子保存化）
- ・販促物の受け取り削減（必要数以上の配布削減要請）

【8】2023年度取組み結果・評価

4.廃棄物排出量の削減

項目	目標	実績	目標差	評価	前年差	評価
産業廃棄物	42.1 t	37.80 t	▲4.3 t	○	▲0.9 t	○

- ・産業廃棄物の分別ルール徹底と3Rの推進、マニフェストの発行及び定期チェックと保管管理
- ・在庫管理基準の定期的見直しと廃棄処理部品の発生抑制の継続推進
- ・木パレットのリユース推進

(株)製紙パレット機構を活用し、
必要な企業に再活用されます



<2023年度月別産業廃棄物排出量実績>



【次年度の取組み】

- ・産業廃棄物の分別ルール徹底と3Rの推進、マニフェストの発行及び定期チェックと保管管理
- ・契約処分業者の現地確認と削減に向けた啓蒙活動
- ・在庫管理基準の定期的見直しと廃棄処理部品の発生抑制の継続推進
- ・樹脂・木製パレットのリユース推進（樹脂：坂部名古屋㈱、木製：(株)製紙パレット機構へ）

【8】2023年度取組み結果・評価

4.産廃物排出量の削減

- ・3R（リデュース・リユース・リサイクル）の推進 ※（ ）は処理先



廃バンパー（トヨタ自動車）



廃バッテリー（戸松冶金）



梱包ラップ（ECO兼子）



紙・ゴミ分別（ECO兼子・各務原衛生）



用紙分別BOX

【8】2023年度取組み結果・評価

5.水使用量の削減

項目	目標	実績	目標差	評価	前年差	評価
使用量	1,160 m ³	1,179 m³	+19 m ³	×	+51 m ³	×

- ・異常値チェックにより水漏れ及びムダな使用の抑制確認実施
(大垣営業所の融雪対応で多量使用発生)
- ・営業所の節水型トイレへの変更 (大垣営業所)
- ・感染防止対策としてこまめな手洗いの実施継続

<2023年度月別水使用量実績>



【次年度の取組み】

- ・月次使用量把握と異常値及び水漏れチェックの継続実施
- ・冬期 融雪剤の使用によるムダな水使用の抑制

【8】2023年度取組み結果・評価

6.グリーン購入の推進・環境配慮型商品の拡販・社会貢献活動の推進

①グリーン購入の推進（文房具購入比率及び購入金額削減）

項目	目標	実績	目標差	評価	前年差	評価
購入比率	67 %	49.9 %	▲17.1 %	×	▲13.8 %	×
金額	880 千円	840 千円	▲40 千円	○	▲139 千円	○

- ・グリーン商品対象文房具類の積極的な購入を推進
- ・文房具類の整理による適性在庫管理（ムダな購入の削減）
- ・フリクション型ボールペンの購入禁止による購入量・金額の削減
- ・購入量削減見直しにより、グリーン購入比率に影響



【次年度の取組み】

SDGs



- ・文房具類購入時にグリーン商品対象品を考慮した購入（対象品の展開）
- ・不要となった文房具類(ファイル・クリップ等)の再利用促進
- ・文房具類におけるムダな購入の廃止徹底

②環境配慮型商品の拡販（省燃費エンジンオイル）

項目	目標	実績	目標差	評価	前年差	評価
販売数量	205,210 L	177,266 L	▲27,944 L	×	▲27,459 L	×

※省燃費E/O比率20.0%（対目標：+4.0%、前年比：+4.9%）

- ・下期値上げの影響により特に卸売を中心に 販売量大幅に減少
- ・メーカー供給制限により販売制限が発生



省燃費エンジンオイル

<2023年度月別省燃費エンジンオイル販売数量実績>



【次年度の取組み】

SDGs



- ・車両に合ったエンジンオイル推奨による省燃費エンジンオイル切替推進（部品商・直売）
- ・施策・キャンペーンを活用した省燃費エンジンオイルへの販売促進

【8】2023年度取組み結果・評価

6.グリーン購入の推進・環境配慮型商品の拡販・社会貢献活動の推進

③社会貢献活動の推進

内容	評価
県・市主催の社会貢献活動への参加	○

【古切手の回収】

・各務原市福祉協議会へ寄付

使用済みの切手は国内や海外の切手収集家に販売され、その収益が寄付となります



<設置場所>
支社本部

事務棟リサイクルBOX上
及び各営業所



【ペットボトルキャップの回収】

・NPO法人エコキャップ推進協会へ寄付

再生プラスチック原料として換金され、医療支援・障がい者支援
子供たちへの環境教育等の活動にあてられます

<設置場所>
支社本部
2階食堂休憩室
及び各営業所

※23年度回収個数：11,137個 25.9kg

(累計回収個数：88,648個)

※652.99kgのCO₂抑制（ゴミとして焼却の場合のCO₂発生を抑制）



【食料寄付】

・社会福祉法人各務原市社会福祉協議会へ寄付

防災備蓄している非常食と、従業員家庭、イベント
(岐阜市防災フェア・トヨタワグドキファンフェスタ) を活用した
フードドライブ活動（食料支援・食品ロスの削減）
による寄付

※こども食堂等で活用されています



フードドライブ活動(食料寄付)
回収期間: 2/9(金) ~ 2/20(火)

◇フードドライブ対象食品【家庭で消費できなかった食品】

米類	・ 精米、玄米、バック米等
インスタント食品	・ 缶詰、カップ麺、レトルト食品等
お菓子	・ だんご、お菓子(個包装)等
飲料水	・ 水、お茶、ジュース等(除くアルコール)
調味料	・ 塩、砂糖等

※常温保管で賞味期限1ヵ月以上のもの

岐阜市 防災フェア2023
In カヨフルライブ 岐阜
2023/10/14(土)~15(日) 10:00~18:00

※参加無料

防災用品展示ブース
防災グッズ
体験コーナー

【8】2023年度取り組み結果・評価

6.グリーン購入の推進・環境配慮型商品の拡販・社会貢献活動の推進

③社会貢献活動の推進

内容	評価
県・市主催の社会貢献活動への参加	○

【河川環境ボランティア】

<TOYOTA SOCIAL FES! 2023>

・県・市主催及びトヨタ自動車主催の清掃ボランティアへの積極的な参加

★トヨタソーシャルフェスin長良川（23年6月）

長良川河畔（長良橋～忠節橋の両岸河川敷）の清掃活動と鮎の放流

★長良川を美しくする運動（23年4月）

長良川河川敷（長良川公園付近河川敷）の清掃

★川と海のクリーン大作戦（23年10月）土岐川

土岐川河川敷（記念橋～国長橋）付近の一斉清掃



<川と海の
クリーン大作戦>

【地域の保育園、幼稚園、小学校などへの貢献活動】

・段ボールを活用した貢献活動

部品梱包に使用された段ボールを活用し、
幼稚園にて子供たちと段ボールカーを作成の上、
交通安全教育を実施

<普段リサイクルされるダンボール>

<オリジナルの段ボールカーに変身>



・トヨタ未来スクール

若手社員を中心に県内の小学校へクルマ（交通安全）に関する出張授業を実施



【次年度の取り組み】

- ・ペットボトルキャップ、古切手、ベルマークの回収活動を推進
- ・地域環境ボランティア（清掃活動やイベント活動）への積極的な参加
- ・防災備蓄食料品の定期入替に伴う食品ロスを減らす為、社会福祉協議会(各務原市)への寄付
- ・フードドライブ活動（トヨタワグドキファンフェスタ等イベントの活用・従業員案内等）継続による、
こども食堂等(岐阜県社会福祉協議会)への寄付
- ・地域の保育園、幼稚園、小学校などへの交通安全教育活動
- ・社会福祉協議会への食料品配送協力（郡上・高山・古川地区）

【9】次年度の環境経営計画

支社取り組み項目	実施時期	該当部署
1. 電気使用量の削減		
①毎月の使用量実績（電気代も含む）報告・掲示による使用量削減への意識づけ	毎月	全部署
②エアコン・照明等、人がいない場合はこまめに『電源OFF』を徹底	通年	
③感染症対策を含め体調面を考慮したエアコン活用と換気の継続運用		
④食堂の人数分散、人数制限を継続実施	年1回	
⑤環境月間展開による啓蒙活動の推進		
⑥退社時間の早期化の推進（省エネデー、月次報告等、業務効率化推進による残業削減）	毎月	
⑦システム機器等の計画的な代替を推進（省エネ機器への代替）	通年	
⑧エアコンフィルター・室外機の定期清掃の実施	年4回	
⑨低使用頻度機器類における待機電力の削減	毎月	
⑩ブラインドの最適な活用（遮光、採光、断熱）	通年	
2. ガス使用量の削減		
①毎月の使用量実績（ガス代も含む）報告・掲示による使用量削減への意識づけ	毎月	全部署
②感染症対策を含め体調面を考慮したエアコン活用と換気の継続運用	通年	
③食堂の人数分散、人数制限を継続実施	年4回	
④エアコンフィルター・室外機の定期清掃の実施		
⑤退社時間の早期化の推進（省エネデー、月次報告等、業務効率化推進による残業削減）	毎月	営業所
⑥手順書に基づく給湯器の活用	通年	
⑦トイレ手洗い場・温水便座のお湯使用制限（冬期限定使用）	冬期	
3. ガソリン・軽油使用量の削減		
①月次使用量と社用車別走行距離及び燃費実績をCSR/内部統制委員会報告・展開	毎月	全部署
②効率的社用車の運用管理（メール予定表活用による最適車両使用）	通年	
③HEV・PHEV車といったエコカー等への代替推進および、最適台数の把握		
④社用車安全点検の徹底（タイヤ残溝・空気圧）による安全性と燃費向上の推進		
⑤配送タイヤ・ルートの最適化や他社との共同配送による効率的燃料使用の推進		
⑥安全衛生委員会と連動したエコドライブの推進	年1回	
⑦環境月間展開によるエコドライブ啓蒙キャンペーンの展開		
⑧手順書遵守による効率的燃料使用の徹底（アイドリングストップ・急発進・急加速等）	通年	
⑨社用車への低燃費タイヤ利用推進	毎月	
⑩社用車のエアコン設定調整による燃費向上（時期・天候ごとの有効的活用）	通年	
⑪公共交通機関利用促進	年1回	

【9】次年度の環境経営計画

支社取り組み項目	実施時期	該当部署
4. 廃棄物排出量の削減		
(1)一般廃棄物		
①毎月の一般ゴミの廃棄エリア別実績把握による原因分析とゴミ削減の意識づけ	毎月	全部署 カスタマーセンター 営業所
②毎週4S時の混入チェックと分別の徹底		
③モバイル型ノートPCへの切替えに伴うペーパーレス化推進（印刷物の削減）	通年	
④My箸使用によるゴミの削減		
⑤印刷前の確認・徹底（保留印刷）と必要数印刷による不要な印刷の削減		
⑥ペナタブレット活用によるペーパーレス化促進（受注メモの電子保存化）		
⑦販促物の受け取り削減（必要数以上の配布削減要請）		
(2)産業廃棄物		
①産業廃棄物の分別ルール徹底と3Rの推進、 マニフェストの発行及び定期チェックと保管管理	通年	全部署
②防災備品（ヘルメットなど）、システム機器入替に伴うリサイクルの推進		
③契約処分業者の現地確認と削減に向けた啓蒙活動	年1回	総務部
④在庫管理基準の定期的見直しによる廃棄部品の発生抑制推進	通年	物流部
⑤樹脂・木製パレットのリユース推進		
(3)共通		
①毎月の排出量実績報告・掲示・展開による排出量削減への意識づけ	通年	全部署
5. 水使用量の削減		
①月次使用量把握と異常値及び水漏れチェックの継続実施	毎月	全部署 営業所
②感染防止対策としてこまめな手洗いを実施しながら水使用の削減意識も徹底	通年	
③冬期 融雪剤の使用によるムダな水使用の抑制	冬期	
6. グリーン購入の推進、環境配慮型商品の拡販、社会貢献活動の推進		
(1)グリーン購入の推進（切替促進と文房具購入金額削減）		
①文房具類購入時にグリーン商品対象品を考慮した購入	通年	全部署
②不要となった文房具類(ファル・カリア等)の再利用促進		
③文房具類におけるムダな購入の廃止徹底		
(2)環境配慮型商品の拡販（省燃費エンジンオイル）		
①車両に合ったエンジンオイル推奨による省燃費エンジンオイル切替推進（部品商・直売）	通年	外販部 営業所
②施策・キャンペーンを活用した省燃費エンジンオイルへの販売促進		
(3)社会貢献活動の推進（県・市主催の社会貢献活動への参加）		
①回収活動(ペットボトルキャップ、古切手、ヘルマーク)の推進	年2回	総務部 物流部 全部署
②地域環境ボランティア（清掃活動等）への積極的な参加	通年	
③防災備蓄食料品の定期入替に伴う食品ロス削減に向けた寄付活動（社会福祉協議会）	年3回	
④地域の保育園、幼稚園、小学校、社会福祉協議会などへの貢献活動	通年	
⑤社会福祉協議会への食糧品配送協力活動（郡上・高山・古川地区）	毎月	
⑥地域イベント等への参加・協力（ワクドキファンフェスタ・いつものもしもキャラバン等）	通年	

【10】環境関連法規制の遵守状況

1. 当支社に適用となる主な環境関連法規制等および遵守評価

法令等の名称	適用される主な要求事項	遵守評価	
		取組み状況	判定
環境基本法	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動にて生じる公害を防止し、自然環境への保全措置を講ずる ・事業活動に係る物が廃棄物となった場合の適正な処理の措置 ・事業活動に係る物の使用、廃棄による環境負荷の低減と再生資源等の利用 ・国又は地方公共団体が実・する環境保全・策への協力 	環境方針（基本理念・基本方針）に基づき、全従業員への周知と取組みを実施している（ホームページ、経営計画書に掲載）	○
温暖化対策推進法	<ul style="list-style-type: none"> ・温室効果ガス排出の抑制に努める ・国又は地方公共団体が実施する環境保全施策への協力 	CO2換算3000トン/年未満 23年度：629.1トン/年	○
環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・雇用者へ環境保全に関する知識及び技能向上に向けた意欲増進又は環境教育実施 	13年4月よりエコアクション2.1運用開始し環境取組を推進 新入社員研修にて教育実施	○
水質汚濁防止法	<ul style="list-style-type: none"> ・貯油施設等から油流出事故への対応及び県知事への届出 ・公共用水域への排出又は地下への浸透状況の把握と防止 	手順書、定期点検実施により事故発生なし	○
水道法 (簡易専用水道)	<ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働省令で定める基準に従い当該水道を管理 ・厚生労働省令の定めるところにより、定期に地方公共団体の期間又は厚生労働大臣の登録を受けた者の検査を受ける(1回/年以内) 	(株)美装モリタ商会にて貯水槽清掃及び消毒実施(2/14) 水質の検査報告確認(5/15) 検査結果は水質基準を満たし適合 ※別ファイル管理	○
下水道法	<ul style="list-style-type: none"> ・油が公共下水道に流入する事故が発生した時は、直ちに引き続く当該下水の排出防止への緊急措置を講ずる ・事故発生時は速やかに事故の状況及び講じた措置の概要を公共下水道管理者に届出なければならない 	緊急事態対応手順書に基づき事故発生時は対応 環境教育訓練の実施 対象拠点において油漏れ流出事故の発生なし	○
浄化槽法 (支社本部・中津川営業G)	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の設置又は変更時の届出 ・保守点検、定期点検(年1回)の実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・浄化槽の設置届出済 ・保守点検の実施(3~4回/年) ・定期検査の実施(1~2回/年) ・定期清掃の実施(1~2回/年) 	○
騒音規制法	<ul style="list-style-type: none"> ・特定工場等に係る規制基準の遵守 ※空気圧縮機、送風機7.5kw以上は環境省令に基づき市長へ届出 	コンプレッサー・送風機共に全拠点届出不要基準内にて該当施設なし	○
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・事業活動に伴って生じた廃棄物を自らの責任において適正に処理 ・再生利用等により廃棄物減量に努め、国及び地方公共団体の施策に協力 ・管理する土地又は建物の清潔を保つように努める ・産業廃棄物が運搬されるまでの間、環境省令で定める基準に従い保管 ・産業廃棄物の運搬又は処分委託する場合は環境省令で定めるものに委託 ・産業廃棄物管理票の交付と適正管理 ・事業場ごとに1年分の産業廃棄物管理票交付状況を県知事に報告 	委託業者の許可証確認(2024年5~6月実施) 委託業者の現地確認※5年に1回(2024年5~6月実施 6社) マニフェストの適正管理を継続実施中(6月に発行報告書作成)	○
特定家庭用機器商品化法 (家電リサイクル法)	<ul style="list-style-type: none"> ・販売した特定家庭用機器廃棄物の引取り依頼があった場合はルールに従い適切に処理 	現状、引取り依頼されたものは発生していない	○
循環型社会形成推進基本法	<ul style="list-style-type: none"> ・廃棄物の抑制とリサイクルによる再資源化 ・リサイクルできない場合の適正処理 ・再生品を使用することにより循環型社会形成に自ら努める 	紙・ごみの分別によるリサイクル化推進 中古パソコン、LED照明の販売及び、省燃費エンジンオイル販売の拡大を展開中	○
PRTR法	<ul style="list-style-type: none"> ・指定化学物質等を他の事業者に対し譲渡、又は提供するときは、提供する相手方に対し、性状及び取扱いに関する情報を提供しなければならない 	提供依頼のあった場合にMSDSデータを提供(TMCIはホームページから依頼)	○
省エネ法	<ul style="list-style-type: none"> ・法第17条第1項の年度原油換算エネルギー使用量1,500kl以上の場合、実績を報告 ・【提出】エネルギー使用状況届出書、定期報告書、中長期計画書 ・【専任・届出】エネルギー管理統括者、エネルギー管理企画推進者 	前年度原油換算使用量1,500kl未満にて提出対象外(2023年度501kl : N年1社様-量集計.xls参照)	○

【10】環境関連法規制の遵守状況

1. 当支社に適用となる主な環境関連法規制等および遵守評価

法令等の名称	適用される主な要求事項	遵守評価	
		取組み状況	判定
消防法	<ul style="list-style-type: none"> 防火管理者の専任及び所轄消防署へ届け出 貯蔵所の届出及び指定数量以内での取扱い 【指定数量】 第1石油類 200L 第2石油類 1000L 第3石油類 2000L 第4石油類 6000L 屋内消火栓設備の設置（延べ面積700㎡以上） 自動火災報知設備の設置（延べ面積500㎡以上） 消防用設備等の点検と報告 	屋内貯蔵所・地下タンク貯蔵所・ 一般取扱所の届出済（2014年9.3） 防火管理者の選任・届出済 （2015年7.2 石原さん） 消防計画（変更）届出（2017.3.28） 消防法設備等設置届出済み 少量危険物貯蔵所の届出済 消防用設備点検・改修実施	○
火薬類取締法	<ul style="list-style-type: none"> 火薬庫外において貯蔵可能な火薬類は25kg迄 販売のために都道府県知事の指示する安全な場所に貯蔵する ※各務原市消防本部による火薬庫外貯蔵所承認 ：火薬庫外貯蔵所指示証⇒支社本部240kg（3,000本） 営業所（各務原除く）：25kg（325本）以内での保管 	鍵付の保管庫で管理（物流部） 回収時方法は販売店、外販先より メーカーへ直送	○
フロン排出抑制法	<ul style="list-style-type: none"> 適切な場所への設置等（振動発生なし・作業空間確保） 使用する環境の維持保全（定期清掃等） 機器の点検 第一種特定製品は1回以上/3ヶ月：簡易点検を実施、一定規模以上の製品は業者にて定期点検を実施 フロン類漏洩時の速やかな対応 機器点検の記録と保存 	支社本部及び全営業所設置の対象 機器の調査と点検方法を案内 支社本部は1回/3年業者点検にて 点検 2024年6月実施(次回2027年5月迄) 拠点は4回/年自主点検実施 (内部監査にて状況確認)	○
労働安全衛生法	<ul style="list-style-type: none"> 職場における労働者の安全と健康を確保 安全管理者を選任し、安全に係わる技術的事項を管理 遅滞なく報告書を所轄労働基準監督署長に届出 	安全衛生管理者設置 安全衛生委員会を毎月開催 《労災事故発生状況》 ・2023年度は労災事故1件	○
トヨタ販売店 サステナビリティ関連方針・ガイドライン	<ul style="list-style-type: none"> トヨタ販売店としてトヨタ地球環境憲章のもと社会・地球の持続可能な発展への貢献 	TMP本部を通じたカーボンニュートラル 実績報告	○
岐阜県環境基本条例 岐阜県公害防止条例 各市環境基本条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動にて生じる公害を防止し、自然環境への保全措置を講ずる 事業活動に係る物が廃棄物となった場合の適正な処理の措置 事業活動物に係る物の使用、廃棄による環境負荷低減 市町村又は県が実施する環境保全施策への協力 	車両の定期メンテナンスと、緊急事態対応 手順書に沿った対応を実施中 分別の徹底及び、リサイクルにより適正な 処理を推進中 毎月全拠点にて地域環境美化運動とし 周辺地域の環境美化に協力 EA21取組み項目として環境ボランティアに参加	○
岐阜県産業廃棄物の適正 処理等に関する条例 産業廃棄物の処理及び 各市の清掃に関する 条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動を行う際、廃棄物の減量及び資源の有効利用に努める 市町村又は県が実施する環境保全施策への協力 産業廃棄物の処理を委託する際、県内産業廃棄物を 処理する能力を確認し結果を記録に残す 委託に係る県内産業廃棄物が適正に処理されるよう、 処理状況の定期的な確認もしくは監視する 処理を委託した産業廃棄物が不適切に処理されていると 知った時は、措置を講ずると共に処理の状況及び措置の内容 を知事に報告する 	分別の徹底及び、リサイクルにより適正な 処理を推進中 委託業者の許可証確認 (2024年5～6月) 委託業者の現地確認 (2024年6月実施 6社) ※5年に1回実施	○
各務原市美しい 町づくり条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業者は活動により生じる空き缶等のごみの散乱防止と啓発に 努める 土地の管理者は雑草の繁茂防止と清掃によりごみの散乱防止に 努める 	毎月1回の取組み ・緑の4S（支社本部）	○
高山市ポイ捨て等及び 路上喫煙禁止条例 中津川市ポイ捨て等 防止条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業所及び周辺の事業活動地域におけるポイ捨て等の防止、啓発 事業者は、この条例の目的を達成するため施策に協力 管理する土地では清掃活動を努めなければならない 	毎月1回地域環境美化運動を実施 EA21取組みにて環境ボランティア活動へ参加	○
大垣市美しい まちづくり条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業所周辺の清掃を行う 自動販売機に回収容器を設け、これを適正に管理 事業活動を行う地域における清掃活動に参加 土地の所有者等は、土地に空き缶等ごみが捨てられないよう 必要な措置を講じ環境美化に努める 	毎月1回地域環境美化運動を実施 EA21取組みにて環境ボランティア活動へ参加	○
中津川市環境保全条例	<ul style="list-style-type: none"> 事業活動を行う時は自然の変改を最小限にとどめ、 市民の安全の確保と植生の回復、緑地の造成、 その他自然環境の保全に必要な措置を講ずる 	・廃棄物分別管理手順書に基づき 適正に処理を実施	○

2. 違反、訴訟等

当支社は、自支社の遵守状況評価で問題がないことを確認しました。なお、環境関連法規への違反もありませんでした。関係当局より違反等に指摘も過去3年間ありませんでした。

【11】代表者による全体の評価と見直し・指示

管理責任者の報告及び改善への提案	代表者のコメント
【環境指標の達成状況報告】 《CSR/内部統制委員会報告済み事項》 毎月主な項目の実績状況をグラフにて報告 原単位目標がある項目は日あたり実績に含めて表示 EA21取組み項目別・拠点別の実績状況・比較表で管理 ※CSR/内部統制委員会PP資料 ※『2023年度 エコアクション2 1 主要取組み項目実績状況』 (全社・拠点別・拠点計) ※『社用車月間走行距離一覧表』	変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し 毎月のCSR/内部統制委員会資料として実績情報を共有。 項目別の進捗状況と併せて、異常値や各部取組み事項等について、報告、対応検討により活動の状況を確認。 当期間では拠点での水量異常が確認され、原因を把握し、是正対応に繋がられた。 また、CSR/内部統制推進会議も毎月実施し、各部の取組み状況および情報の共有が図られている。
【環境取組みの達成度と課題、今後の活動予定】 環境経営方針と体制、目標・手順書の確認 ※『環境経営方針』 ※『推進体制』 ※『各種手順書』 各取組み項目ごとに活動進捗状況を確認 ※『環境経営目標（中期目標計画）』 ※『環境経営目標の結果と評価』 ※『次年度の環境経営計画』	変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し 年初に環境経営方針と推進体制・環境経営目標を策定し、支社内へ周知すると共に、関連手順書の教育実施を継続。 電気・ガスについては5月より新型コロナウイルス感染症法上の分類が5類へ引き下げられ、CO2排出量を見ながら随時換気を実施もほぼ目標どおり達成することができた。 省燃費エンジンオイルの拡販が価格改定の煽りを受け販売量大幅減少。来期は達成状況を踏まえ、取組み項目・目標の見直しを検討下さい。
【法規制の変更と順守状況】 岐阜県環境推進協会・日本産業廃棄物処理振興センター、第一法規Webサイト情報等により期間内の環境関連法改正を確認→当社に関連する条例等の改訂は見られなかった。 上記含む関連法規制の遵守状況は下記にて確認 ※『環境関連法規一覧表』参照 ※『廃棄物処理法 状況一覧』参照	変更の必要性： <input checked="" type="checkbox"/> 有り <input type="checkbox"/> 無し 『環境関連法規一覧表』を基に各種法令の遵守状況を確認。 エコアクション2 1 更新審査時に蛍光灯の処理方法についてアドバイスがあり、拠点間で移送する場合には、廃掃法（自社運搬基準）への対応が必要となるため、処理方法の検討が必要。
【内部監査の結果と是正状況】 2023年11月1日～11月9日に実施の内部監査結果および 是正状況について 11月21日『CSR/内部統制委員会』にて報告	変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し 監査報告書に記載したとおり、マニフェスト照合日の記載漏れや、紙ごみの分別問題に対し、決められたルールをしっかりと守るという会社風土が安全や品質にも繋がりが大切なため、まずは、従業員全員で基本的なこと（決められたルール）を徹底して取り組んでいきましょう。
【外部からの苦情・要請への対応】 TMP本部より「23年度カーボンニュートラル実績集計」要請に対しエコアクション2 1 取組み実績を報告	変更の必要性： <input type="checkbox"/> 有り <input checked="" type="checkbox"/> 無し TMP本部からの環境関連取組み要請について継続対応。 (SDGs取組み・地球環境月間取組み等)
【総括】 2023年度は5月より新型コロナウイルスの感染症法上の分類が5類へ引き下げられ、以降、少しづつですが、環境活動への影響も落ち着いてきました。 毎月、例年どおり、CSR/内部統制委員会にて項目毎の取組みや進捗状況を確認し、対策等を協議しながら環境負荷軽減、社会貢献活動等を推進してきました。併せて、CSR/内部統制推進会議を毎月開催し、推進担当者間での情報共有を図りながら、具体的な活動に向けた取組み推進により、従業員の活動意識向上に繋がっていると感じます。 電気・ガスの使用量については、省エネデーを月2回から3回に増やし、業務の効率化とワークライフバランスの充実を図りながら退社時間早期化を推進し、照明・エアコン等の使用削減を進めてきました。天候に左右され電気使用量は僅かに目標には届きませんでしたが、ガス使用量は達成できました。今後も継続して省エネルギーへの意識啓発を図っていきます。 燃料使用量については、昨年度同様、配送ダイヤの最適化、他社との共同配送による効率化、環境に配慮したHEV車を含む定期的代替に取組み、ガソリン・軽油共に目標達成することができました。 廃棄物の削減では、軽量型PCへの日替えによるペーパーレス会議への移行、又、文房具類では、フリクション型ボールペン購入廃止等を見直しにより共に成果を上げることができました。 省燃費エンジンオイルの拡販は、価格改定の影響があるため、目標見直しが必要です。 社会貢献活動は、昨年度に引き続き、清掃活動や社会福祉協議会への食料寄付、近隣幼稚園や小学校での環境問題や安全に向けた授業の実施などの取組みができました。 今後もエコアクション21及びSDGsの取組みを全従業員が一層意識できる活動を推進して参ります。	
2024年6月20日 岐阜支社長 中西 直孝	



トヨタモビリティパーツ株式会社 岐阜支社

CSR/内部統制事務局

〒509-0109

岐阜県各務原市テクノプラザ3丁目1番5

TEL 058 - 257 - 1111 (代表)

FAX 058 - 384 - 6930

URL <https://www.toyota-gifu-parts.co.jp>

※環境活動レポートは年1回発行予定